

次期広島市障害者計画骨子案の作成に向けて

1 障害者計画を取り巻く状況

【国の主な動き】

- ・平成24年「障害者虐待防止法」施行
- ・平成25年「障害者総合支援法」施行
- ・平成26年「障害者権利条約」締結
- ・平成28年「障害者差別解消法」施行
- ・平成28年「改正障害者雇用促進法」施行
- ・平成29年「ユニバーサルデザイン2020 行動計画」決定
- ・令和3年「改正障害者差別解消法」成立・公布
- ・令和4年「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」施行

【広島市の主な動き】

- ・令和2年「広島市障害者差別解消推進条例」施行
- ・令和2年 広島市総合計画
(広島市基本構想／第6次広島市基本計画(2020年－2030年)) 策定
- ・令和2年 広島市実施計画(2020－2024)第2期「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略 策定

【その他社会の主な出来事】

- ・平成26年8月 広島市土砂災害
- ・平成28年7月 相模原市障害者施設殺傷事件
- ・平成30年7月 西日本豪雨災害
- ・令和2年1月以降 新型コロナウイルス感染症の感染拡大
- ・令和3年 東京2020オリンピック・パラリンピック

【社会情勢の変化（障害者基本計画（第5次）骨格案※より）】

- (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックのレガシー継承
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大と「新たな日常」への対応
- (3) 持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現（SDGsの視点）

※障害者基本計画（第5次）については、現在、障害者政策委員会で検討中。

2 新たな障害者計画策定におけるポイント

新たな障害者計画の策定にあたっては、現行計画を踏襲しつつ、社会情勢の変化や障害者基本計画（第5次）骨格案における視点等を踏まえて、取組をさらに充実するよう、各施策を検討します。

障害者基本計画（第5次）における横断的視点等より

- ・社会のあらゆる場面でアクセシビリティ向上の視点（ハード・ソフト両面でのバリアフリー化）
- ・障害のある女性、子供及び高齢者に配慮した取組の推進
- ・SDGsの視点（関係機関等との緊密な連携・協力）
- ・計画におけるPDCAサイクルの在り方（※具体的な数値目標は設定しない）